

芦屋市広報

発行所 芦屋市精道町93
芦屋市役所
発行人 芦屋市長 内海 清
編集人 山村 康 六
印刷所 オール出版印刷 K K
毎月1回5日発行定価2円

本市の推計人口
(3月1日 現在)

人口総数	53,942
男	26,188
女	27,754
世帯数	12,816

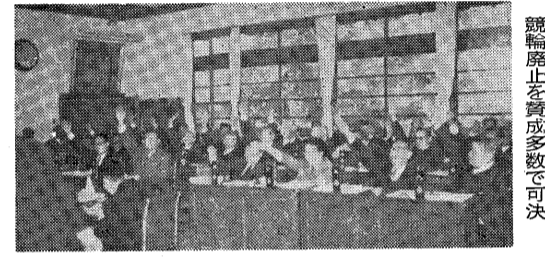
新年度予算をはじめ 重要案件を審議

第2回定例市議会

さる三月十日から三月末までを会期として開会された第二回定例市議会は「予算市会」といわれ、昭和三十五年度の芦屋市政全般にわたる事業計画を決定する重要な市議会です。その様子を見学しようと、第一日には本年新しく選挙権をもった市内の成人のみなさんが傍聴しました。

昭和36年度から 市営競輪全廃を決議

第一日はまず昭和三十四年度関係の議案が審議され、引続いて市長の昭和三十五年度市政方針説明が行なわれました。審議された議案の内容がふれますと、議員提出議案第2号の県道「精道山線」に関する意見書(可決)は、精道山線が幅四・五〇メートルにすぎないため、通学、通行者の安全を守るため、関係橋以北北山手小学校北方までの間、芦屋川東岸を通る新しい道路を建設するよう、それが困難であれば、現在の道路を拡げるよう、兵庫県知事に意見書を提出するものです。第9号議案「財政再建計画の変更について」(可決)は、市税の自



然増収、住宅用地買収補助金などの増額が決定したため、これらの財源の一部を投資的経費に充当し、翌年度へ一、四四〇余万円を繰越すものです。第10号議案「昭和三十四年度義務教育施設整備事業費起債について」(可決)は、五〇〇万円の借入れを昭和三十四年度に行ない、精道中学校の校舎を改築するものであります。第11号議案「昭和三十四年度歳入歳出追加更正予算(第九号)」(可決)は、総額三〇、五二六、一〇〇円の追加更正であり、県道「精道山線」の拡幅工事費、第二阪神国道の整備に関する物件移

譲、新築中の伝染病院へ備えつける消毒装置の購入費などが主な内容です。第12号議案「昭和三十四年度特別会計国民健康保険追加更正予算(第三号)」(可決)は、一四〇万円の追加更正で、療養給付費の増額が主な点です。第13号議案「昭和三十四年度特別会計市立芦屋病院追加更正予算(第二号)」(可決)は、総額二五

競輪廃止を賛成多数で可決
競輪廃止を賛成多数で可決
競輪廃止を賛成多数で可決
競輪廃止を賛成多数で可決

追加議案も上程

第二日は三月十六日再開されました。まず、議員提出議案第3号「決議について」(可決)は、競輪事業廃止に関する決議、本市が昭和二十四年から二十一年にわたって開催してきた競輪事業の財政的負担と社会的性格の問題について種々検討をした結果、財政再建期間が終了するとき、速やかに廃止すべきであるけれども、昭和三十五年度には市庁舎新築などに多額の経費を要する、事務の円滑な処理にも準備期間が必要であるので、昭和三十六年度から本市の競輪事業を廃止しようとするものであります。議員提出議案第4号「昭和三十五年度各予算案の減額修正について」は、修正の操作に法的疑義があるとの発言があり、そのような疑義が生じたまま審議するのは好ましくないとして、一応撤回にきまり、修正の内容については、予算審議の際、併せて検討することとなりました。

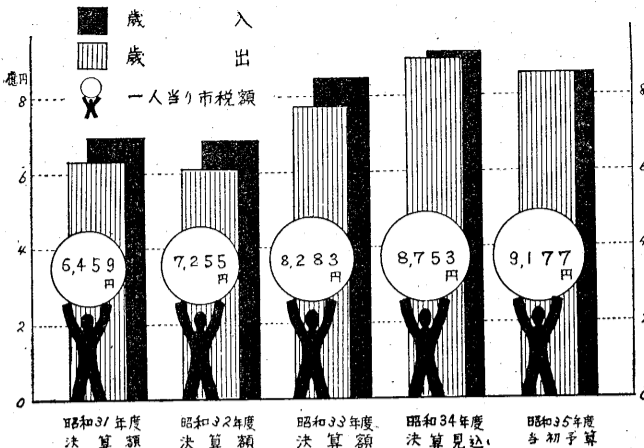
その後、第26号議案から34号議案(未記)が一括上程され、引続いて総括質問に入りました。質問は①福祉行政のしんじょ処理②下水道問題③阪神国道の南北交通の山地開発(ヘルセンター)

と、昭和三十五年度市政方針について市長の説明があり、三月十六日に再開を決定し、散会しました。

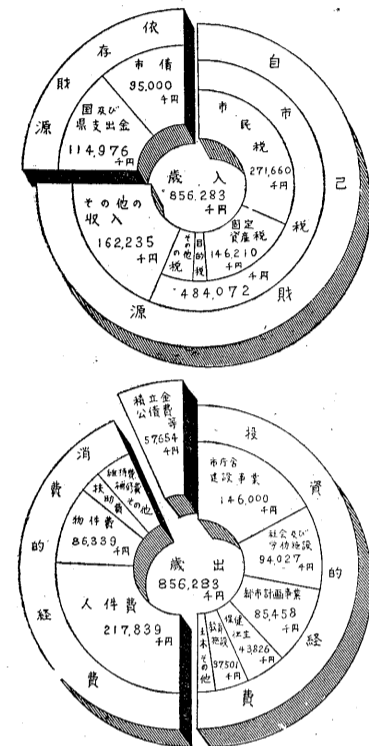
委員会の付託
その後、一般質問が十七名の議員からあり、各議案はそれぞれ委員会に付託することとして散会しました。

第14号「第34号議案(カッコー内)は付託した委員会」
第14号 昭和三十五年一般会計
第15号 昭和三十五年一般会計
第16号 昭和三十五年一般会計
第17号 昭和三十五年一般会計
第18号 昭和三十五年一般会計
第19号 昭和三十五年一般会計
第20号 昭和三十五年一般会計
第21号 昭和三十五年一般会計
第22号 昭和三十五年一般会計
第23号 昭和三十五年一般会計
第24号 昭和三十五年一般会計
第25号 昭和三十五年一般会計
第26号 昭和三十五年一般会計
第27号 昭和三十五年一般会計
第28号 昭和三十五年一般会計
第29号 昭和三十五年一般会計
第30号 昭和三十五年一般会計
第31号 昭和三十五年一般会計
第32号 昭和三十五年一般会計
第33号 昭和三十五年一般会計
第34号 昭和三十五年一般会計

各年度決算・予算額の推移



新年度予算の構成



35年度予算成立 自己財源が3/4の一般会計

昭和三十五年度芦屋市の各会計予算は、さる三月十日の市議会で議決されました。その概要は前号別と、会計別の予算額が下表のとおりです。また、各年度の決算、予算額の推移と新年度予算の構成はグラフのようになっています。

昭和35年度予算

歳入	484,072,000円
歳出	520,171,500円
一般会計	856,283,300円
特別会計	31,693,800円
基金	67,001,000円
繰越金	7,501,000円
繰入金	212,233,000円
繰出金	1,078,600円
繰上金	8,730円
繰下金	60,867,700円
繰入金	60,833,700円
繰出金	23,000,000円
繰上金	30,559,200円
繰下金	-

前期分保険料算定おわる ご納付は市金庫へ

本四月の上旬から国民健康保険の加入世帯のみなさんに、三十五年前期分の保険料納付告知書を送達しています。この保険料は四月から九月までの六カ月分、三十四年度の市県民税と固定資産税を基礎にして計算してあります。保険料の額は、三月までと大差がありませんが、条例が改正されましたので、見直し世帯主(健康保険等)に加入している世帯主、家族が国民健康保険に加入している世帯主の所得及び資産をもとにして、保険料がかかる(に)は、所得割を減額するほか、資産の向上をはかるのと保険料をあげないようになっています。徴収区

ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ

ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ

ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ

ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ
ご納付は市金庫へ

固定資産税

納期は 4月30日
第一期分の
納期は 4月30日
限りです
お忘れなくお納めください

早く納めよう

市納の付は
早く納めよう
早く納めよう
早く納めよう

早く納めよう

早く納めよう
早く納めよう
早く納めよう
早く納めよう

早く納めよう

早く納めよう
早く納めよう
早く納めよう
早く納めよう

教育と文化



希望にみちて439人

精道中学校卒業式

精道中学校の第十七回卒業証書授与式は三月十四日午前十時半から宮川小学校講堂で厳粛に行なわれた。北村教育委員長はじめ来賓多数を迎え、田谷正勝君が代表となつて四百三十九人にめでたく卒業証書が授与された。

すでに私立高校合格者は兵庫県百二十七名、大阪五十名にのぼり、就職者も六十一名が二月末に決定済み。明るい前途が約束されている。

吉屋高校へ進学するものなどそれぞれ自分の進む目標に向かって希望をこらませている。(カット写真は精道中の卒業式)

巣立ち行く子ら

青空もうららかに

山手中学校

今年もまた恒例の青天の卒業式が、うららかな陽春の陽光を浴びて、三月十四日午前九時半より山手中学校の中庭で挙行された。

この日山手中学校第三十三回生として巣立つ若人は男女合わせて四十八名。福永校長の激励によって改革された新形式の卒業式も今年で四年目を迎えた。今年も一人一人に校長自ら親しく卒業証書を授与し、前姿を祝福した。

また井岡教育委員長と内海市長の祝辞のあと、在校生を代表して武本公子さんが送別の言葉を述べ、お別れの言葉を述べた。卒業生代表の中塚美奈さんが答辞を述べ、卒業式の雰囲気をもあげた。最後に「仰げば尊し」を斉唱し「蛍の光」の演奏される中、在校生、先生、父母の拍手に見送られて三年間学んだ白い塔のある校舎を巣立ち行つた。

今年に進学・就職とも好成績、関係者を喜ばせている。

大きくなって...

劇あそびやお別れ遠足

岩園幼稚園

生活発表会

年度末を控えた三月五日、子ども達の一年間の成長の総まとめと考えられる生活発表会をひらいた。その二つがあかぬけのない思い出の思い出である。一人一人の子どもの成長の軌跡が、お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

ことばの研究會

山手小 教師の修養のために

二月二十九日、山手小学校で、NHKのアナウンサーを講師に招いて「ことばの研究會」を開きました。

わたしたちは日頃、わけもなく、ことばを使つてゐます。あまりに、わけなく使つてゐるために、ことばのむずかしいところを調べてみる人は少ないです。

毎日、鏡にむかひて、かおのお化粧をしたり、まよおいを直したりする人はあつても、じぶんのことばについて反省してみるのは少ないです。

教師といふものは、それとて、毎日、ことばをなかにちかとして子どもに接してゐるのです。教師のことばによつて、子どもは動かし、まよおひするものなのです。むずかしいことばを、おいても、簡単に考えてみても、教師のことばが、はつきりしてゐないと、子どもはまよひつてゐます。

ことばは教師にとつて、大切な技術の一つにちがひありません。

花のアーチをくぐつて

山手幼稚園



可愛らしい花のアーチ！
胸にかがやくバラの花！

「おめでとう」の言葉を受けて、年少組の可愛い幼い歌声をあとに退場していった。皆元気に次への段階を歩んでくれることを願つてゐる。(写真は花のアーチをくぐつて一人一人証書を受ける園児たち)

「おめでとう」の言葉を受けて、年少組の可愛い幼い歌声をあとに退場していった。皆元気に次への段階を歩んでくれることを願つてゐる。(写真は花のアーチをくぐつて一人一人証書を受ける園児たち)

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。



どの円満な発達、つまり知的発達だけでなく、人格形成の時期であるといふ事をよくみつめて下さることを願う。

お別れ遠足
三月十五日、幼稚園の最後の楽しい思い出となるよう、阪神パークに遠足する。一年間の閉すつかり身をついたきまりを、お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

宮川小

第三十一回卒業証書授与式は三月二十四日講堂で、来賓保護者、立錫の余地もない程の晴れやかなる中、行なわれた。田中校長より男児百九十九名、女児百八十二名計三百八十一名に晴れの卒業証書が代表の鈴木明彦君に授けられた。

在校生総代五年生藤原文夫君がお送りのことばを述べた。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

松葉づえの友情

松葉づえの友情に結ばれて卒業する押田壯一君が松葉づえをついて担任につき添われて退場する瞬間は一段と式場内に拍手が湧き出す。卒業生ならび同窓に対して前途の祝福が送られた。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

歌ごえも明るく

宮川幼稚園の卒業式
書は、園長から一人一人に授与された。園長から一人一人に授与された。園長から一人一人に授与された。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

感謝の真心こめて

精道小卒業前の奉仕活動
陽光にひたひたに汗をにじませて、最後の奉仕活動が行なわれた。朝の交通整理、学園の除草、低学年の机・いすの小修理、手洗場の清掃、落書き等、真心こめて奉仕活動がつづいた。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

光る窓に喜びの顔

記念行事のかずかず
岩園小
お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

リズムバンドに送られて

幼稚園の卒業式は、子ども達の生活の最後のしめくくりのものとあり、育てて来た一人一人の成長を、一つ一つの瞬間に、落着いた感じ、持たせるところにしました。証書をお母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

岩園小

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

新書

今月の新書
お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

図書

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

その他

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。

お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。お母さんや先生方の目に映る。